真宗大谷派 (東本願寺)

天満別院





733号 2025 12/1

天満別院崇敬寺院巡

紫雲山

じょうぎ

い、修復が成し遂げられたことが記録に残ってれている。その都度ご門徒一同が力を出し合よって破損した本堂や庫裡の大修復が2度行わ

淨行寺も明治から昭和初期にかけ、

風水害に

寺し、代々住職が継承され、現在に至っている。

中野村は度重なる風水害に見舞われており、

田郡(門真市)岸和田の善福寺・蓮沼霊含が入となった。その後、明治15(1882)年に茨以後住職家によって寺院が護持されていくこと

いる。

その後も、

戦時中に堂宇が強制撤去

- 戦後しばらくして、 子が強制撤去 (建物疎

代表者 輪番·奥林 · 大阪市北区東天満1―355 曉 3

住 住 職 : 大阪市都島区中野町四丁目二十番七十号蓮沼 善行

沿革

明治11(1878)年に寺号「淨行寺」を免許御本尊・阿弥陀如来立像(木仏)を下附され、 て建立されたことに始まる。 ていった。 されることで、 された中野村道場は、 る東生郡(東成)中野村に「中野村道場」とし $\begin{array}{c}
1 \\
6 \\
3 \\
0
\end{array}$ は、 年に、 徐々に寺院としての形態を整え から約 現在の都島区中野町にあた 元禄8 (1695) 年に 惣道場として建立 年前、 寛永7

彼岸会・

報恩講の諸法要をはじめ、

月忌参りで配布している寺報/諸法要をはじめ、毎月18日に

淨行寺では、永代経・盂蘭盆会

秋季

婦人会を開催し、

団体参拝等を通じてご門徒との交流を深めていの内容を共有するとともに、おみがきや野菜市、

事に事業が成し遂げられている。 業が行われ、いずれもご門徒のご尽力により無平成18(2006)年には淨行寺会館の建設事成元(1989)年にはその本堂の大修復が、

ご門徒方が中心となって復興がなされ、

させられていたため、

 $\begin{array}{c}
1 \\
9 \\
5 \\
6
\end{array}$

年に本堂が再建された。

また、

昭和

当該住職のもと寺号を取得し自庵化が行われ、慶応3 (1867) 年に中村実應が住職となり、 により道場が護持されていたと伝えられていは明らかでないが、ご門徒の委任を受けた僧侶創建当初、どのような僧侶が関わっていたか 兼務していたことが記録に残っている。しかし、 時が下り、 江戸後期には近隣の真宗寺院が

りが大きく減少し、現住職は、「コロ

口

ナ感染症拡大以後、

月忌参

多くのご門徒さんとの接点

る

深めていく取り組みや、が薄くなってきている。

を運んでくださるような新たな接点を色々模索

地域の方々がお寺に足 ご門徒さんとの関係を

る。

法要・行事予定

12月 教如上人御命日晨朝兼日中 (7時45分) 12日 先門首御逮夜・永代経 (14時) 13日 先門首御命日晨朝兼日中 (7時45分) 20日 合唱団「みのり」 (14時) 26日 青年部会フィールドワーク (14時) 27日 宗祖聖人御命日逮夜 (14時) 28日 宗祖聖人御命日晨朝兼日中 (7時45分) 法話:輪番 同朋の会 すす払い (9時) 31日 歳末昏時勤行 (15時)

おあさじにお参りしましょう!!

頭7:45分~8:30頃まで

そ

0)

人を忘れて

人でも多くのご参拝をと、願い続けています。

-3日 多正会 (8時) (1日のみ 年頭挨拶 『信上人御祥月命日晨朝兼日中(7 時4 5分) **数如上人御命日晨朝兼日中** (7時45分) 2日 先門首御逮夜・永代紹 (14時) (7時45分) 先門首御命日晨朝兼日中 5 E 如上人御祥月命日晨朝兼日中(7時45分 合唱団「みのり. (14時) (18時) 18E 训院新年会 **19 B** 覚如上人御祥月命日晨朝兼日中(7時45分) 定例法記 (13時30分)

松井 恵 飢 (第13組心願寺) 去然上人御祥月命日晨朝兼日中(7 時4 5分)

25E (14時)

28日 宗祖聖人御命日晨朝兼日中 (7 時45分)

記

法話:輪番

服場日

装所時

12月28日(日

1月

今月の伝道掲示板

その人を憶い 7

われは生き

われは迷う 金子 大栄



同朋の会 すす払い

左記の通り、新年をお迎えするだってご門徒の皆様へ、年末があたってご門徒の皆様へ、年末があたってご門徒の皆様へ、年末があたってご門徒の皆様へ、年末がおいる。 新年をお迎えするに ご参加くださ 末す

~ご縁を大切に~

念珠店

〒600-8174

京都市下京区烏丸通花屋町下る TEL075-351-6325 FAX075-341-5255 https://www.kyo-kusaka.jp

おかげさまで創業120余年 あなたの街の石やさん

石 田

本 社

〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号 TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078

ご家庭仏壇仏具から寺院仏具の設計施工まで

大阪仏壇仏具センター

00 0120-06-0401 https://www.echizenya.co.jp

服部本店 • 本社工場 〒561-0858 大阪府豊中市服部西町1丁目8-15

506-6862-0401 十三敦賀

千里中央店 十 三 店 敦 賀 店 **5** (06) 6871-0401 古(06)6300-0401 古(0770)25-0401

天满别院 青年部会

タイーのドターを

~近世の天満周辺の歴史を学ぶ~

あ申し込みはこちら 天満別院 06-6351-3535

直美氏 (大谷大学講師)

2025年 12月 26日金

午後2時~5時

内容 ·講義 天满别院1階講堂

御遠忌法要中の様子

会

費

お

1,

0

0

0 肖

す。 に出席のご連絡をお願い

v

たしま

場

所

階

講堂

はお電話にて1月10日内を確認いただき、E

日 日 子 入 X

(土) まで

1様には1

同封

のご案 また

テ

7

近世

の天満周辺の

会

費

お一

人 1

 $\bar{0}$

0

円

多くの方々にご利用

V

ただきた

御案内申

墓として合祀墓がございます。

持に協力する門徒、

;に協力する門徒、及び信徒の墳また別院の由緒を敬慕し崇敬護

歴史を学ぶ

別院とお寺 の違 61 は ?



(東本願寺)におられるご門首(親、代々の住、東本願寺)におられるご門首(親、魯別院には職員として、住職の職務を代行する輪番職(責任者)と、日々の進営に関わる事や予算などは、稟談にかけられ、ご本山の承認を必要とします。会社で例えると、本山がとします。会社で例えると、本山がとします。会社で例えると、本山がとします。会社で例えると、本山がとしょうか。一方、寺院は、代々の住るというか。一方、寺院は、代々の住るというか。一方、寺院は、代々の住るというか。一方、寺院は、代々の住るというか。一方、寺院は、代々の住るというか。一方、寺院は、代々の住るというか。一方、寺院は、代々の住るというが、 谷派の別院の住職は、 とがあります。大きな違いのと何が違うんですか?と聞からと何が違うんですか?と聞から の運営形態です。 を選いの一つは のかーれ るこ

している事が多く、一寺院だけでなく、組という近隣寺院のグループでもご門徒さんの教化活動に取り組んでいます。運営形態はお寺毎に異なるので、いわゆる個人商店さんのような形といえるでしょうか。

大阪教区(大阪・奈良・和歌山・兵庫一部)には五つの別院と一つの支院があり、各別院の周辺地域を「崇敬地域」として、別院地域を「崇敬地域」として、別院は、は不ず、崇敬寺院のご住職やそのご家族の協力無しには成り立ちません。崇敬寺院と共に地域に密着した教化活動に取り組む拠点として、別院が役割を担い、ご本山をおする。

す。また、いつでもどなたいうお言葉も耳にしますがいうお言葉も耳にしますが 別院、寺院の共通するところでは ないでしょう 法できる場であることは、ご本山 つでもどなたでも聞 **ぶと言えまが、互い**

宮下 晴輝 師

厳かな雰囲気の中、法要が勤まり職が就任の挨拶と決意を述べられ

開催されます。

1

ルド

ġ

- ぜひご一緒に歴史ークが左記の日程で

化委員会青年部会主催による来る12月26日(金)天満別院

席くださいますよう、

ご案内申

Ĺ

是非皆様お誘い合わせの上ご出

上げます。

を学びましょう。

誠におめ

で

とうござい

時

12

月

26 日

金

日

時

月

18

日

 $\widehat{\mathbb{H}}$

午後6時より

午後2時~

午後5時まで

場

所

料亭

天王殿

要が執行されました。

御遠忌法要厳修並びに住職継職法

おきまして宗祖親鸞聖人七五〇

敬寺院である瑞玄寺

聖人七五○回 (大東市)に に (大東市)

青年部会

フ

1

ールドワーク

にて開催いたします。恒例の別院新年会を左記の日程

墓地使用者を募集しています

別院では真宗の御門徒の

合祀墓納骨のご案内

別院新年会のご案内

新規墓地·

去 る 10

瑞玄寺

御遠忌並び継職法要

茨木別院 団体参拝

恩講に団体参拝をいたしました。 去る11月14日(金)茨木別院型 (金) 茨木別院報

> 貴重な時間を過ごされて に参加できてよかった」

いまし

「滅多に見ることのできない

と皆さん

参加されたご門徒さん

から

は、

いたしました。



参加された方々と記念撮影







夜法要に12名の方が参拝され、宮のため、仮御堂で勤められた初逮

晴輝師の法話を聴聞しまし

た。

素屋根内を見学する様子

は寺務所までご連絡くださいす。墓地のお求め、納骨等詳 式執行は別院職員 が行 ま

その後本堂の素屋根内の見学を